

2022 年度文学部・人文社会系研究科 A セメスターの授業について

新型コロナウイルス感染症は依然として流行拡大期が周期的に訪れる状況にあります。大学としても研究教育活動を正常化するべく、さまざまな対策を講じておりますので、学生の皆さんには引き続き慎重な行動をお願いします。

本学部・研究科では全学の方針にも沿う形で、2022 年度の S セメスターから基本的に対面授業を中心とした授業編成を行っています。A セメスターでもこの方針は維持する予定で、配慮を要するなど一部の特例をのぞいては、本学部・研究科の授業は対面で行われます。ただし、授業の初回時など、受講者が過密になる可能性がある場合には、オンラインやハイブリッドでの実施が検討されていますので、各授業ごとの通知に注意するようにしてください。

なお、S セメスターと同様、A セメスターでも授業方式としては全学の方針に準じて下記のようなカテゴリーが設けられています。各授業がどの形態で行われるか事前に確認しておくようにしてください。

- ① 対面型（対面のみで実施）
- ② 対面・オンライン併用型 A
（総時間数の半数以上を対面で実施、対面を主体としたハイブリッド授業）
- ③ 対面・オンライン併用型 B
（総時間数の半数未満を対面で実施、オンラインを主体としたハイブリッド授業）
- ④ オンライン型（オンラインのみで実施）

また、オンライン授業を学内で受講する際に必要な PC や端末機器については各自でご準備いただくのが原則ですが、経済的理由等で自身での用意が難しい場合には、これまで通り、文学部・人文社会系研究科として、PC・タブレットの貸し出しなどを始めとする通信環境に関する支援を継続する予定です。

対面での授業に際しては、教室の換気設備の整備・増強を始めとする感染防止対策に必要な施設整備も引き続き進めて参ります。今後も状況を見据えながら、人文学に相応しい授業のあり方を模索し、柔軟に対応していく予定です。もろもろご不便おかけすることもあるかと思いますが、皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022 年 9 月 16 日
教務委員会委員長